

『ささえあい ともに生きる 地域づくり』を目指して

津市社会福祉協議会では、これまで、平成22年4月に「津市地域福祉活動計画」続いて平成26年4月に「第2次津市地域福祉活動計画」を策定し、津市の地域福祉のまちづくりを地域の皆さまとともに進めてまいりました。

その間、10年を経てさらに少子高齢化が進むなか、一人では解決が困難なさまざまな生活課題や悩みの解決に向けて、地域の力を醸成し、支えあい、助けあえる地域福祉コミュニティの構築がより一層求められています。

今回策定いたしました「第3次津市地域福祉活動計画」には、津市が進める「津市総合計画基本構想・第2次基本計画」の基本政策を踏まえ、これまでの津市地域福祉活動計画の取り組みを検証し、地域課題に向き合った実現可能な施策を掲げました。この施策を地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員の方をはじめとする地域の皆さまと津市、そして津市社会福祉協議会がともに手を携えて取り組むことで、子どもから高齢者、障がいのある人等、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるコミュニティの形成を図る計画と位置づけています。

次世代へ豊かな地域を引き継いでいくため、本計画の基本目標である『ささえあい ともに生きる 地域づくり』を目指し、取り組んでまいりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

結びに本計画の策定にあたり、多大なるご尽力を賜りました津市地域福祉活動計画策定推進委員並びに作業部会委員の皆さまをはじめ、地区福祉懇談会やアンケート調査、パブリックコメントにご協力いただきました皆さま、関係団体・機関の皆さまに心からお礼を申し上げます。

2019年4月

社会福祉法人 津市社会福祉協議会

会長 小 淵 徹 夫



第3次津市地域福祉活動計画の策定にあたり

津市地域福祉活動計画策定推進委員会 委員長
三重短期大学 生活科学科 教授 長友 薫 輝



第3次津市地域福祉活動計画の策定にあたり、ご挨拶申し上げます。本計画は「津市総合計画基本構想・第2次基本計画」と連携し、市民や地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会、ボランティアなどが主体的に参加し、地域の課題解決に取り組むことを目指して策定するものです。

津市社会福祉協議会への期待は、第2次計画策定時にも増して高まっていると感じています。地域包括ケアシステムの構築をはじめ、市民の皆さまとともに、そして津市とともに取り組むべき課題は山積しています。

地域福祉のさらなる推進に向けて、本計画では地域のニーズをより具体的に把握し、取り組むべき課題を明確にするために、新たに「地区別福祉プラン」を示し、地域における実施計画として位置づけました。

本計画の策定を契機として、市民の皆さまとともに取り組む地域福祉を推進する力が一層生み出されることを期待しています。

最後になりましたが、本計画策定にご協力いただきました市民の皆さま、並びに作業部会委員・策定推進委員の皆さまに深く感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

第3次津市地域福祉活動計画作業部会 委員長
ふれあい長寿津 会長 瀧 薫



第3次津市地域福祉活動計画の策定にあたり、新たな試みとして地域で実践的に活動している者が招集され、専門的協議を行う場としての作業部会が設置されました。

その狙いは、地域社会の構造と人々の価値観が「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へと変化する社会状況のなかで、今までにない多様な生活課題に対して、支える側と支えられる側との区分を取り払い、全住民が一体となって地域福祉を進めるための行動指針をつくることと理解しました。私たちは、幅広い福祉分野のテーマに対し、現状の課題はもとより将来を見据えて建設的な提起と議論を重ね、その内容を施策に反映することができたと思っています。

しかし、その一方で、推進の要となる「自助・互助・共助・公助の有機的な連携ができるしくみ」の整備なくして成果は期待できず、絵に描いた餅になりかねないと危惧する部分がないわけではありません。

私たちは、これを機会に改めて地域の皆さまとの連携を深め、施策推進のお手伝いと共助の役割の立場で活動していきたいと思っています。

第3次津市地域福祉活動計画が「子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らすことができる」地域づくりに役立つことを期待しまして、ご挨拶とさせていただきます。

【目次】

第1章 計画の基本的な考え方	1
1 計画策定の背景と趣旨	2
2 計画の位置づけ	3
3 計画期間	4
4 計画の策定体制	5
5 連携と協働による計画の推進	7
6 計画の推進と進行管理	8
7 計画の周知	8
第2章 津市の地域福祉を取り巻く概況	9
1 津市の地域福祉を取り巻く現状	10
2 地域福祉を支える社会資源	16
3 前計画（第2次津市地域福祉活動計画）の取り組みと課題	18
4 津市の地域福祉を取り巻く現状と課題のまとめ	24
第3章 基本目標と基本方針	25
1 計画推進のテーマと基本目標	26
2 第3次津市地域福祉活動計画の体系	27
3 今後5年間で取り組む重点活動	28
第4章 施策の展開	31
基本方針1 子どもや若い世代が元気な地域	32
活動方針（1）地域で取り組む子育て支援	32
活動方針（2）子ども・若者の地域活動への参加促進	35
基本方針2 安心して子育てができ、希望がもてる地域	37
活動方針（1）安心・安全な子育て環境の整備	37
活動方針（2）子育てに希望がもてるネットワークづくり	39
基本方針3 高齢者が健やかに活躍できる地域	41
活動方針（1）地域で目指す安心長寿	41
活動方針（2）高齢者の活躍の場づくり	44
基本方針4 障がいのある人が自分らしく暮らせる地域	47
活動方針（1）障がいのある人の主体的な暮らしを支える地域づくり	47
活動方針（2）障がいのある人の社会参加の場づくり	50

基本方針5 生活上の課題を解決できる地域	52
活動方針(1) 住民の声を聞き、暮らしを支えるしくみづくり	52
活動方針(2) 災害時支援体制の構築・強化	56
基本方針6 住民が尊重し合い、認め合う地域	59
活動方針(1) 支えあい、絆のある地域づくり	59
活動方針(2) 住民主体による地域福祉の推進	62
第5章 地区別福祉プラン	67
1 地区別福祉プランについて	68
(1) 地区社会福祉協議会の役割と地区別福祉プラン作成の目的	68
①津中央エリア	69
②津北郊エリア	74
③津南郊エリア	79
④津西郊エリア	83
⑤久居地区	87
⑥河芸地区	90
⑦芸濃地区	92
⑧美里地区	94
⑨安濃地区	96
⑩香良洲地区	98
⑪一志地区	100
⑫白山地区	102
⑬美杉地区	104
資料編	107
1 地域福祉とは	108
2 津市社協における地域支援体制のイメージ図	110
3 アンケート調査結果	111
4 策定経過	120
5 策定推進委員会設置要綱	123
6 策定推進委員会委員	124
7 作業部会設置要綱	125
8 作業部会委員	126